

田村市図書館 おすすめ本 ～ティーンズ向け特集～



書名	「給食アンサンブル」	「やなやつ改造計画」
著者名等	如月 かずさ // 著 (光村図書)	吉野 万理子 // 著 (あすなろ書房)
おすすめポイント	転校先に馴染むのを拒む美貴、親友の姉に恋をする満、孤独な優等生の清野。悩みを抱く中学生6人の揺れる心が、給食をきっかけに変わっていく。やさしく胸に響くアンサンブルストーリー。	中学2年生のきまま男子・京座木光也が、市議会議員の伯父の影響で、生徒会長に立候補することを決意。選挙を勝ち抜くため「リーダー」の研究をはじめめるが…。
書名	「ココロの友だちにきいてみる」	「13歳からの『傾聴力』 向上バイブル」
著者名等	細川 貂々 // 著 (笠間書院)	岩松 正史 // 監修 (メイツ出版)
おすすめポイント	「ココロの友だち」に気持ちを吐き出す「友だち日記」を書いてみたら…。著者が1年間続けた友だち日記から、「幸せになる」「自分と仲よくなる」「人とうまくつきあう」ためのヒントを伝える。	傾聴とは、相手の話すことに対し、相手の立場に立って、相手に共感しながら、関心を持って聴くこと。傾聴を学ぶと、友達との関係が良くなったり、自分に自信が持てたり、自分が好きになったりします。傾聴の考え方や心構え、傾聴スキルを磨こう。
書名	「ストロベリームーン」	「なんで人は青を作ったの？」 青色の歴史を探る旅
著者名等	芥川 なお // 著 (すばる舎)	谷口 陽子 他 // 著 (新泉社)
おすすめポイント	高校の入学式で出会った初日、萌と付き合うことになった日向。好きな人と一緒に見ると永遠に結ばれるという神話がある赤い満月を見に行き幸せな時間を過ごす…。2人を待ち受ける行方が描かれる。	自然にほとんど存在しない青色を人類はどうやって手にしたのか？ 上野にある科学倶楽部に所属する中学1年の蒼太郎(そうたろう)と律(りつ)は、青の再現実験を通して人類のあくなき探究心に触れ、その魅力にはまってしまい…。
書名	「みかんファミリー」	「小泉八雲と妖怪」
著者名等	椰月 美智子 // 著 (講談社)	小泉 凡 // 著 (玉川大学出版部)
おすすめポイント	中学1年生の美琴は、シングルマザーの母と祖母と暮らしている。ある夏、母が同級生と再会し、突然その家族と共同生活を始めることになった。しかし、向こうの家族には隣のクラスの変わり者がいて…。	明治時代にヨーロッパからアメリカを経て日本に来た作家、小泉八雲。多くの怪談作品を生みだし、日本文化の魅力を世界の人々に伝えた小泉八雲が自身の人生を物語る「一人称の伝記」。写真・イラストも掲載。略年表・索引付き。

田村市図書館 おすすめ本 ～絵本～



書名	「ほうきぼしのまほう」	「少年とクスノキ」
著者名等	ジョー・トッド＝スタントン // 作 (評論社)	東野 圭吾 // 文 (実業之日本社)
おすすめポイント	窓から見えるのは灰色のたてものと星が7つ。ねむるときに波の音も聞こえない。ここは、わたしのおうちじゃない…。とまどいによりそい、少女が「おうち」を取りもどすまでを、色あざやかに描く絵本。	戦争や災害、病気などで大事な人たちを失ってしまった少年。旅人から、未来を見せてくれるクスノキの女神に会いに行くよう勧められ、少年はクスノキに出会い、未来を見せてもらいますが…。